

経営経済動向調査結果（要約）

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会

宇城久地域ビジネスサポートセンター（宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会）

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会では、景気動向を把握するために、宇治・城陽・久御山区域内に有する企業を対象にアンケート調査を行った。

今回は、平成28年7月～12月期、平成29年1月～6月期実績と、平成29年7月～12月期予測についての調査を本年7月に実施。350社から回答（回答率35.0%）を得た。

業界の景気

各企業に関する業界の景況感を全業種でみると、平成29年の上期実績ではBSI値が▲3.9となり、平成28年下期実績のBSI値▲7.4、前回調査した平成29年上期予測の▲6.6と比較しても、マイナス幅が縮小している。平成29年下期予測のBSI値は▲4.2とマイナス傾向が続き、先行きについて慎重な見方をしている企業が多数であった。

業種別の平成29年上期実績をみると、製造業のBSI値が好転しているほか、飲食業やサービス業でマイナス幅が縮小しているが、下期予測をみると、ふたたびマイナス幅が大きくなり、業種によりかなりのばらつきがみられる。

規模別にみると、A規模企業（従業員数20人以上）は全期間のBSI値がプラスを示しているが、B規模企業（従業員数19人以下）では全期間のBSI値がマイナスであり、規模間の格差が顕著に現れている。

業界の景気	平成28年7月～12月			平成29年1月～6月						平成29年7月～12月		
	実績			予測			実績			予測		
項目	上	下	B	上	下	B	上	下	B	上	下	B
業種	昇	降	S	昇	降	I	昇	降	I	昇	降	I
全業種	16.6	31.4	▲7.4	16.9	30.2	▲6.6	21.5	29.3	▲3.9	17.0	25.4	▲4.2
製造業	21.2	29.1	▲4.0	20.9	27.5	▲3.3	28.5	26.8	0.9	24.8	22.1	1.4
卸・小売業	5.9	47.1	▲20.6	8.3	43.3	▲17.5	7.8	49.0	▲20.6	5.9	47.0	▲20.6
飲食業	5.3	42.1	▲18.4	20.0	33.3	▲6.7	15.8	26.3	▲5.3	0.0	31.3	▲15.7
運輸・通信業	9.1	36.4	▲13.7	9.1	9.1	0.0	0.0	36.4	▲18.2	0.0	27.3	▲13.7
建設業	16.3	21.0	▲2.4	21.1	21.1	0.0	20.9	23.2	▲1.1	14.6	9.7	2.5
サービス業	17.1	26.9	▲4.9	10.4	35.4	▲12.5	16.7	21.4	▲2.4	10.3	25.7	▲7.7
A規模企業	23.1	22.0	0.6	23.5	23.5	0.0	26.4	19.8	3.3	23.1	17.6	2.8
B規模企業	14.2	34.8	▲10.3	14.3	32.9	▲9.3	19.7	32.7	▲6.5	14.7	28.3	▲6.8

（注）BSI値とは、企業経営者の景気全般の見通しについて、強気、弱気の度合を示すもので、プラスならば「強気」「楽観」、マイナス（▲）ならば「弱気」「悲観」を意味する。

算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引きし、2分の1を乗じて計算する。

またA規模企業は従業員20人以上の企業で、B規模企業は19人以下の企業。

自社の操業度

各企業における操業度合について、全業種平均のBSI値をみると、平成28年下期実績▲0.9、平成29年上期実績0.2となり、1.1ポイント上昇した。また前回調査した平成29年上期予測の▲2.5をみても、予測に反し操業度は上昇している。平成29年下期予測でのBSI値は▲2.4と、多くの企業で今後は落ち込むと予測している。

実績の2期間を比較すると、製造業、サービス業のBSI値はプラスであるが、卸・小売業、飲食業では2ケタのマイナスと業種によりばらつきがみられる。平成29年下期予測では、製造業、運輸・通信業以外の業種では多くの企業で操業度が下降すると予測している。

自社の 操業度	平成28年7月～12月			平成29年1月～6月						平成29年7月～12月		
	実績			予測			実績			予測		
項目 業種	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I
全業種	25.2	27.0	▲0.9	22.3	27.4	▲2.5	26.9	26.6	0.2	22.3	27.1	▲2.4
製造業	32.4	26.8	2.8	26.5	27.6	▲0.6	35.7	28.5	3.6	32.6	25.2	3.7
卸・小売業	7.8	29.4	▲10.8	11.9	33.9	▲11.0	7.8	29.4	▲10.8	4.0	36.0	▲16.0
飲食業	10.5	47.3	▲18.4	20.0	46.7	▲13.3	15.8	36.9	▲10.6	0.0	50.0	▲25.0
運輸・通信業	10.0	50.0	▲20.0	27.3	0.0	13.6	10.0	10.0	0.0	11.1	11.1	0.0
建設業	23.8	16.6	3.6	27.5	20.0	3.8	23.8	23.8	0.0	12.2	19.5	▲3.7
サービス業	27.5	20.0	3.8	14.6	25.0	▲5.2	24.4	17.1	3.7	21.1	26.3	▲2.6
A規模企業	36.3	22.0	7.2	30.1	19.4	5.3	31.9	18.7	6.6	35.2	15.4	9.9
B規模企業	21.2	28.8	▲3.8	19.1	30.7	▲5.8	25.1	29.5	▲2.2	17.4	31.5	▲7.1

生産・売上高

製造業、建設業における生産高、それ以外の業種における売上高について、平成29年上期実績をみると、全業種のBSI値は▲1.6と直前期に比べ2.9ポイント上昇したもののマイナス傾向が続いている。前回調査の平成29年上期予測と比較すると、実績のマイナス幅は縮小している。平成29年下期予測においてはBSI値▲4.9とさらに落ち込み、減少傾向が続く見込みとなっている。

製・商品販売価格

各企業における製品又は商品の販売価格について全業種平均でみると、BSI値は全期でマイナスを示しているものの、平成28年下期実績で▲4.1、平成29年上期実績で▲2.5、平成29年下期予測で▲0.8とマイナス幅は縮小している。平成29年上期実績を前回調査した予測と比較するとBSI値のマイナス幅が増大しており、予測より下降していると感じた企業が多数であった。

当面の経営上の問題点

この調査は、企業における経営上の問題点（複数回答）について調査したものであり、全企業平均で最も多いのは、「求人難」の41.1%であり、ついで「売上・受注不振」の40.0%、「商品価格・受注単価安」の24.9%、「原材料価格高」の23.4%、「人件費の高騰」の22.6%の順になっている。業種別に最も多かった経営上の問題点を見ても、「売上・受注不振」が製造業(40.6%)、卸・小売業(48.1%)、「原材料価格高」が飲食業(55.0%)、「求人難」が運輸・通信業(63.6%)、建設業(51.2%)、サービス業(42.9%)で最も多く挙げられている。